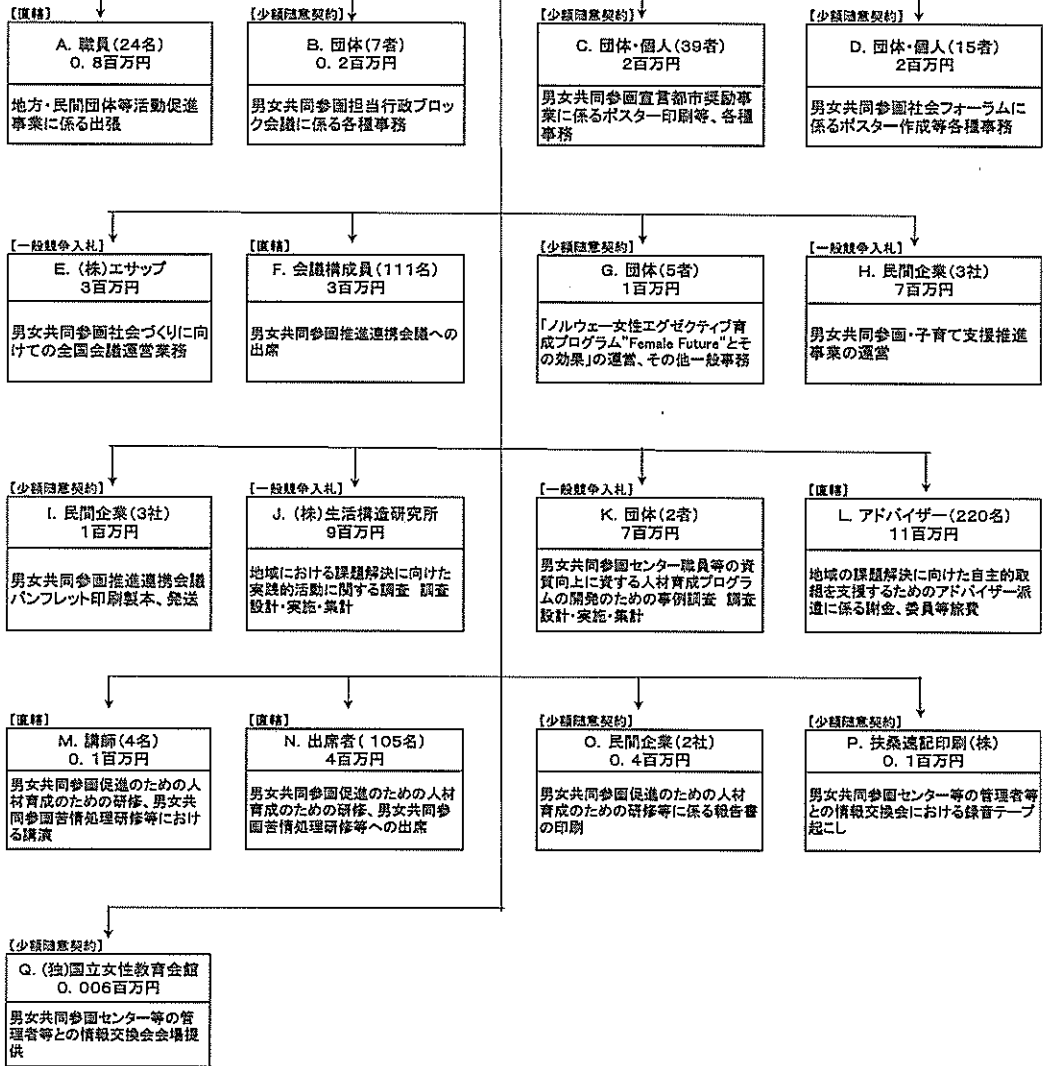


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	男女共同参画を促進するための地方公共団体・民間団体等との連携に必要な経費		事業開始年度	平成13年度～	作成責任者	
担当部局庁	内閣府男女共同参画局		担当課室	総務課・調査課・推進課	総務課長	
会計区分	一般会計		上位政策	男女共同参画社会の形成の促進		
根拠法令(具体的な条項も記載)	男女共同参画社会基本法		関係する計画、通知等	男女共同参画基本計画		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	男女共同参画社会の形成は、広く国民に関わるとともに、あらゆる分野に関わるものであり、国のみならず地方公共団体、民間団体の取組が重要。このため、地域における男女共同参画の促進のための支援、地域レベルの啓発を進めるための各種会議・フォーラム等の開催、地方における人材育成のための研修等を通じ、地方公共団体・民間団体等の取組を支援・促進するとともに、これらの主体における男女共同参画社会の形成に向けた総合的かつ実践的な取組が展開されるよう促す。					
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議、フォーラム等、全国、ブロック、市町村レベルで、国、地方公共団体、民間団体、国民各界各層が集う場を設け、相互の情報提供、意見交換等を行う。 地域における様々な課題解決のための実践的な活動に関する先進事例の収集・分析・提供や人材育成プログラムの開発、アドバイザー派遣等による総合的な支援を行う。 都道府県・政令指定都市担当職員や地域において活躍が期待される男女等に対する研修等を実施する。 苦情処理に携わる女性センター等の管理者等からの意見聴取を行う。また、女性センターの管理者、行政相談委員・人権擁護委員等を対象にした研修や情報提供を行う。 					
実施状況	<p>(1)地方・民間団体等活動促進経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画行政ブロック会議経費【実施箇所数:6箇所、参加人数:平均26人(21年度)】 ②男女共同参画宣言都市奨励事業経費【実施箇所数:7箇所、参加人数:平均540人(21年度)】 ③男女共同参画フォーラム経費【実施箇所数:3箇所、参加人数:平均475人(21年度)】 ④男女共同参画社会づくりに向けての全国会議経費【参加人数:900人(21年度)】 ⑤男女共同参画推進連携会議経費【構成人数:各界各層106名から構成】 <p>(2)地域における男女共同参画促進総合支援経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域における男女共同参画促進に関する情報の収集・提供 ②地域における男女共同参画に関する実践的調査・研究【地域における課題解決に向けたニーズ調査の実施(21年度)】 ③地域における男女共同参画促進のための人材育成プログラム等の開発・提供【先進事例の調査の実施(21年度)】 ④地域における男女共同参画促進を支援するアドバイザーの派遣【派遣件数:220件(21年度)】 <p>(3)男女共同参画促進のための人材育成経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ①都道府県・政令指定都市担当職員研修経費【実施回数:2回、参加人数:平均合計151人(21年度)】 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する「政策研修」【参加人数:31人(21年度)】 ・男女共同参画に関する「基礎研修」【参加人数:120人(21年度)】 ②人事・労務担当者講習会経費【実施せず】 ③男女共同参画ヤングリーダー会議【参加人数:66人(21年度)】 <p>(4)男女共同参画苦情処理促進経費【研修への参加人数:180人(21年度)】</p>					
予算の状況(単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	46	36	128	97	102
	執行額	30	30	52		
	執行率	65.2%	83.3%	40.6%		
	総事業費(執行ベース)	30	30	52		
支出先・使途の把握水準・状況	<p>※事業名は、「実施状況」欄を参照。</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> すべて、事業の進捗管理を適切に行うとともに、支出先・使途の把握を行っている。 ①～⑤:参加者に対するアンケート結果により、事業目的に照らした効果の把握に努めている。 ④:今後、あらかじめ全体のスケジュールリングについて綿密な打ち合わせを行うとともに、報告、確認を定期的に行うことにより、より適切な実施状況の把握に努める。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①:事業の進捗管理を適切に行うとともに、支出先・使途の把握を行っている。 ②:調査を実施した委託先事業者からの随時の報告、当方からの確認により適切に実施状況を把握している。 ③:21年度事業については、平成21年度は、開発に向けた事例の調査を行い、調査を実施した委託業者からの随時の報告、当方からの確認により適切に実施状況を把握している。 ④:アドバイザーの派遣を希望する地方自治体等からの申請受付・審査・決定・謝金等の支給を内閣府で行っている。 <p>(3)、(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者に対するアンケートの実施により、事業目的に照らした効果の把握に努めている。 					
自己点検	<p>※事業名は、「実施状況」欄を参照。</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ②～⑤:アンケート結果(参加者からの意見)や事業の効果や踏まえながら、毎年度プログラムの見直し、時機を得たテーマの設定を行うなど、より効果的な開催に努めている。 見直しの結果、22年度においては、①については事業の廃止、②、③については、事業の一部廃止を行った。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①:サイトを活用し、女性のチャレンジ支援関係施策の情報提供を行っている。平成21年度はシステムの更改経費を計上していたが、男女共同参画ホームページの整備経費の一環として効率的に実施するとともに平成21年度限りとする見直しを行った。 ②、③:一般競争入札(総合評価落札方式)で実施したところ予算額を大幅に下回る金額で委託先と契約し効率的執行となった。②については、地域の実情に応じたテーマ設定、③については、より効果的なプログラムとなるような検証の工夫を行う。 ④:平成21年度は初年度のため周知不足もあり実績が十分ではなかったが、22年度は事業の認知度の高まり、募集期間の延長等により利用拡大を図っている。また、緊急雇用対策として、就労・再就職支援に資する場合、派遣の要件を緩和した。今後も、地域の実情を踏まえた見直しを行う。 <p>(3)、(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートにおける参加者からの意見を踏まえ、毎年度プログラムの見直しを行うなど、より効果的な開催に努めている。21年度については、基礎研修と苦情処理研修を一体として開催し、効率化を図った。 					
化予 算 の 見 直 し の 所 在 等	<p>事業全体として、長期的なプランを立て、その中に個々の事業を位置づけて評価すべき。</p> <p>予算執行率の低さ(41%)も踏まえ、①アドバイザー派遣は、予算より実績が相当下回っているため、地方の需要(申請件数)を早期に把握し、②地方において開催する各種会議等に要する経費は執行状況を概算要求に反映させるべき。</p> <p>ヤングリーダー会議は、男女共同参画社会の形成の促進における位置づけや実施内容など、事業の必要性について精査すべき。</p>					
備 考	<p>21年度予算執行、22年度予算要求に当たっては、一般競争入札による事業実施、事業内容の見直し等により、経費の削減を図ったところであり、23年度予算要求に当たっても、引き続き、執行状況を踏まえた工夫を行う。</p>					

内閣府男女共同参画局
52百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

E. (株)エサップ			K. (独)国立女性教育会館		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議運営	3	諸謝金	男女共同参画センター職員等の資質向上に資する人材育成プログラムの開発のための事例調査 調査設計・実施・集計	4
計		3	計		4
F. 会議構成員(111名)			L. アドバイザー(220名)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	男女共同参画推進連携会議への出席	2	諸謝金	地域の課題解決に向けた自主的取組を支援するためのアドバイザー派遣	7
			委員等旅費	地域の課題解決に向けた自主的取組を支援するためのアドバイザー派遣	4
計		2	計		11
H. (株)エム・プラスコンベンション			N. 出席者(105名)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	男女共同参画・子育て支援推進事業の運営	3	委員等旅費	男女共同参画促進のための人材育成、男女共同参画苦情処理研修のための研修等への出席	4
計		3	計		4
J. (株)生活構造研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
諸謝金	地域における課題解決に向けた実践的活動に関する調査 調査設計・実施・集計	9			
計		9			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

B. 男女共同参画担当行政ブロック会議に係る各種事務(7団体)		
支出先	用途	金額
ホテルレイクビュー水戸	会場借料	0.1百万円
福島県市町村職員共済組合福島グリーンパレス	会場借料、会議費	0.0百万円
(株)西鉄イン	会場借料	0.0百万円
地方職員共済組合湯田保養所 翠山荘	会場借料、会議費	0.0百万円
(株)西鉄シティホテル	会議費	0.0百万円
(株)朝日屋	会議費	0.0百万円
しずおか女性の会	会議費	0.0百万円
合計		0.2百万円

C. 男女共同参画宣言都市奨励事業に係る各種事務(26団体、13個人)		
支出先	用途	金額
(株)丸井工文社	ポスター他印刷製本	0.3百万円
宮崎交通(株)延岡支店	会場借料	0.3百万円
(株)双文社	ポスター他印刷製本	0.3百万円
(財)延岡総合文化センター	会場借料	0.2百万円
江南市民文化会館	会場使用料	0.1百万円
(株)コッシー	ポスター他印刷製本	0.1百万円
(有)ソメヤ手芸	看板代	0.1百万円
(財)江津市教育文化財団	会場使用料	0.1百万円
やつしろハーモニーホール指定管理者(株)イズミテクノ	会場借料	0.1百万円
(資)松田筆正者	看板代	0.1百万円
合計		2.0百万円

D. 男女共同参画フォーラムに係る各種事務(14団体、1個人)		
支出先	用途	金額
財団法人 広島県女性会議	会場等借料	0.4百万円
財団法人岐阜市公共ホール管理財団	会場等借料	0.3百万円
コーエイ(株)E/C事業部	運営	0.2百万円
(株)丸井工文社	印刷製本	0.1百万円
個人(1名)		0.1百万円
(株)コッシー	印刷製本	0.1百万円
財団法人 広島県女性会議	看板代等	0.1百万円
(株)双文社	印刷製本	0.1百万円
(株)コッシー	印刷製本	0.1百万円
(株)サン・テンポラリー	託児業務	0.1百万円
合計		2.0百万円

G.「ノルウェー女性エグゼクティブ育成プログラム”Female Future”とその効果」(5団体)		
支出先	用途	金額
諸謝金		0.5百万円
(株)ステージ	運營業務	0.5百万円
庁費		0.5百万円
(株)NHKグローバルメディアサービス	通訳業務	0.2百万円
(株)オフィスサンサーラ	参加申込受付	0.1百万円
(財)女性労働協会 女性と仕事の未来館	会場借料	0.1百万円
(株)サウンドマン	音響証明業務	0.1百万円
合計		1.0百万円

H. 男女共同参画・子育て支援推進事業(3団体)		
支出先	用途	金額
アイ・ツールズアンドイーエクスプレイン(株)	会議運営	3.0百万円
(株)エム・プラスコンベンション	会議運営	3.0百万円
(株)マルト	会議運営	0.5百万円
合計		7.0百万円

I. 男女共同参画推進連携会議パンフレット(3社)		
支出先	用途	金額
朝日梱包(株)	梱包・発送	0.6百万円
(株)双文社	印刷製本	0.3百万円
(株)丸井工文社	印刷製本	0.3百万円
合計		1.0百万円

K. 男女共同参画センター職員等の資質向上に資する人材育成プログラムの開発のための事例調査 調査設計・実施・集計(2団体)		
支出先	用途	金額
(独)国立女性教育会館	調査実施	4.0百万円
(財)日本システム開発研究所	調査実施	3.0百万円
合計		7.0百万円

O. 男女共同参画促進のための人材育成のための研修等に係る報告書の印刷(2社)		
支出先	用途	金額
(株)コッシー	印刷製本	0.2百万円
メディアランド(株)	印刷製本	0.2百万円
合計		0.4百万円